

常任委員会所管事務調査申送り書

【 総務 】委員会

<p>調査研究テーマ</p>	<p>地域コミュニティのあり方について (継続的な調査研究テーマとして)</p>
<p>テーマ設定の経緯</p>	<p>所管事務調査報告書のとおり (以下転記) ○平成29年7月の行政評価において、「施策：自立に向けた住民組織力の向上及びいいだ未来デザイン2028 基本目標8：新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる」の評価を行った。評価のなかで、自治組織の疲弊感があり自らが考え行動を起こす自主的活動ができないことや、地域協議会委員とまちづくり委員会の役員の関係の不明確さ、また地域協議会のあり方について課題があるとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、市民から、地域自治の根幹である地域において、地域へ転入してきた世帯が組合に加入しないケースや、加入している世帯が高齢化や家族構成の変化により組合を脱退するケースがでてきたという話を聞くようになった。 ・これらのことから、組合未加入問題、地域のコミュニティのあり方が、リニア時代を迎える飯田市にとって疲弊しているという声を多く聞くようになったことから調査研究に取り組むこととした。
<p>これまでの取り組み等</p>	<p>所管事務調査報告書のとおり</p>
<p>留意事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会を通して多くの市民から今後も引き続き取り組んでほしいという要望の声をいただいた。 ・地域コミュニティは地区・地域によって、形成されてきた経緯や形が異なるため、すべて画一的な方法によることはできない。 ・この調査研究はやっと「緒についたところ」である。リニア時代に向け飯田の名前の語源にもある「結」を想像できるような「コミュニティ」が持続できるように、継続的な調査研究としていただきたい。
<p>行政評価対象事務事業(項目)</p>	<p>基本目標2 飯田市へ人の流れをつくる 基本目標8 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる 基本目標9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する</p>